

はたらきかた発見マルシェ(くらボ～ロ)【倉敷市】

地域の実情と課題

女性の就業率は全国平均を若干上回っているものの、他地域と同様にM字カーブを描いており、近年改善が見られるものの就業を希望しながら、子育て等を理由に就業できていない女性が依然として多い。

本市が令和2年に実施した事業所アンケートでは、目指している理想の働き方が実現できている割合は平均44%であることが明らかとなり、理想の働き方の実現に向けたアクションを推進していく必要がある。

目的・目標

【目的】

高梁川流域圏において女性をはじめとした多様な人材が活躍できるダイバーシティの推進、ワーク・ライフ・バランスの実現した社会をめざし、企業側・働く側を両輪として、個人、事業所を対象としたセミナーを開催し、新しい働き方(テレワーク等)について具体的なスキルや情報の提供を行った。

【目標】 セミナー参加者数 目標:405名 →実績:571名

事業の特徴

○高梁川流域での働き方を連携推進していくため、「コアメンバーミーティング」を設置し、テーマの設定等の企画検討、事業所における女性活躍の取り組みにおける課題についての情報交換を行った。

○セミナーは企業向け・個人向け・女性向けの構成で、ダイバーシティの推進や女性活躍を進めていく上での成功例や失敗例、スキルアップなどの具体例を取り上げた実践的な内容となった。

連携団体

【コアメンバーミーティング委員】

商工会議所女性会

市内事業所(男女共同参画社会づくり表彰受賞企業等)

大学(倉敷市大学連携推進会議)

金融機関

国(労働局)

県(男女共同参画担当課)

市(男女共同参画推進センター、人事課、労働政策課)

事業の効果

○紙面・WEBによるセミナーの事後アンケートでは、セミナーを5段階で評価し、総合的な満足度は4.39点であった。

○「コアメンバーミーティング」では、事業所における女性活躍やダイバーシティに関する実態や取組状況等の意見交換を行い、市と事業所、関係団体、県等が一体となって女性活躍推進に取り組む機運が高まった。

今後の課題

「コアメンバーミーティングなどの機会に、高梁川流域7市3町の行政職員も参加できるように、声がけする」「企業向けの参加者が、コロナ禍でのPRが十分に行き渡らなかったことなどから低調であった。オンライン参加のメリットを生かして、高梁川流域に広く声がけできるように、各市町や、商工会等の経済団体を通じて、PRするように取り組んでいく」などに注力していくことが重要である。

事業の概要

①「コアメンバーミーティング」の開催

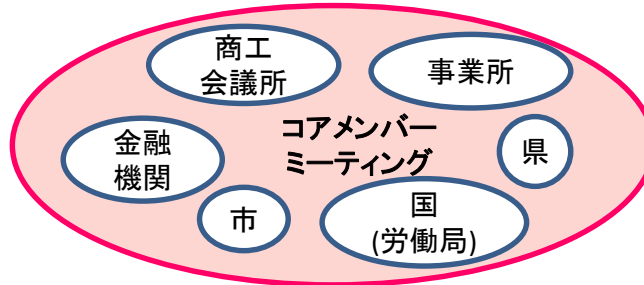
高梁川流域における働き方の先進的な在り方について、事業所や関係団体、行政機関等による情報共有及び検討会議を開催することで、コアメンバーによるコミュニティを形成することを目的として、10月と11月にそれぞれ1回、全2回「コアメンバーミーティング」を開催した。

日程：令和2年10月15日(木)
令和2年11月26日(木)

場所：倉敷市民会館第4会議室

内容：事業所事例発表、意見交換等

参加者：延べ24名



コアメンバーミーティング組織



コアメンバーミーティング風景

②はたらきかた発見マルシェの開催

女性の活躍推進とダイバーシティの実現は事業所や個人の生産性向上に役立つ経営戦略であるとの認識を広め、各事業所や個人における女性活躍推進と働き方改革の機運を醸成することを目的とし、セミナー・相談会等を開催した。

日程：令和2年9月19日(土)～令和2年12月6日(日)
(企業向け：1回,個人向け：8回,女性向け：2回)

場所：住吉町の家分福,総社中央公民館第1会議室

内容：

参加者：延べ329名

はたらきかた発見マルシェ募集チラシ



企業向けセミナー風景



個人向けセミナー風景